

ワラとワザの体験

稲作の副産物の藁(ワラ)は、適度な強度と柔らかさをもち、万能な道具として、地方の暮らしのあらゆる場面を支えてきました。荒縄として農作業に使うだけでなく、土壁の材料や納豆などの発酵食品、わらじや蓑(みの)、野菜や建物の冬囲い、家畜の飼料、正月のしめ縄飾りなど、生活に必要な「衣・食・住」の様々な場面で藁はとても重宝します。藁(ワラ)を使えないと、「農」のある暮らしは営めないほど。今回のプログラムでは、栗原市に伝わる多様な藁の使い方の中から、親しみやすい三つの体験を、農家のワザと一緒にお届けします。

藁

生活シリーズ

農

のある暮らし体験

【①干し大根作り】



2013年
11月23日(土)
午前10時～午後1時

干し大根は、太陽と風のチカラを借りて、大根に2度目の匂をもたらず保存食。大根を包丁で短冊状に切り、藁で編み込みます。

【②正月飾り作り】



2013年
12月22日(日)
午前10時～午後1時

簡単なしめ縄と繭玉(まゆだま)というミズキの木に小さくちぎった餅を付ける飾りを作ります。翌年の幸せを願う、正月飾りです。

見せましょう!
ワラのソコ地カラを

【③ミニほうき作り】



2014年
2月8日(土)
午前10時～午後1時

藁でミニほうきを作ります。家具や机、機械のほこりを払うのにとっても便利です。

【場所】うれしや (〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺3-12-32)

【参加費】 各回2,000円(昼食代を含む)

【定員】 各回10人(最少催行人数6人)

【持ち物】 エプロン、三角巾、防寒着

【問い合わせ・申込先】 くりはらツーリズムネットワーク

☎0228-23-0050 ✉kurihara.tn@gmail.com



ほんによ

f <https://www.facebook.com/kuriharatourism>